

6-2 東北支部

1. 支部の現状

- | | |
|----------------|------|
| (1) 令和4年度末会員数 | 107社 |
| (2) 令和5年度入会会員数 | 3社 |
| (3) 令和5年度退会会員数 | 2社 |
| (4) 令和5年度末会員数 | 108社 |

2. 令和5年度の活動実績

2-1 地域への貢献活動

(1) 社会貢献活動

行政機関と共催の高校生対象の橋梁模型作品発表会の開催

(2) 一般市民を対象とした講演会

「東北の未来を育む」と題して、東日本大震災から12年を経た復興後の東北の未来を育むことをテーマに、これからのまちづくりや東北を支える人材育成にスポットをあてた講演会を11月29日に開催（入場者約200名一般のみ参加。会員へは2月5日開催）

(3) 新技術展示会「EE 東北'23」に実行委員として参画（集合及びWeb公開）

出展者数385社、出展技術数1,035技術
来場者2日間延べ人数 13,900名

2-2 会員企業等への貢献活動

(1) 講習会・講演会・研修会

- ・道路・構造講習会
- ・河川講習会（集合・Web開催）
- ・環境講習会（Web開催）
- ・CIMハンズオン講習会
- ・本部委員会の講習会（マネジメント、エラー防止、GISなど）（Web開催）
- ・コンプライアンス研修会

(2) 現場見学会

- ①道路 ②構造 ③河川・環境 ④地盤・インフラメンテナンス

(3) 官公庁職員研修への研修講師の派遣

国、県市職員研修に講師を派遣＝49講座94名派遣

(4) 意見交換会

- ・東北地方整備局 2回
 - ・東北6県及び仙台市 各1回
- (5) 会誌「JCCA 東北」発行
2回発行 1回の発行部数 1,150部

3. 令和6年度の活動予定

3-1 地域への貢献活動

- (1) 行政機関と共催の高校生対象の橋梁模型作品発表会の開催
- (2) 社会資本整備の必要性を広く社会に訴える講演会の開催
- (3) 新技術展示会「EE 東北'24」に実行委員として参画

3-2 会員企業などへの貢献活動

- (1) 会員各社の技術者のための技術習得を目的とした道路・構造・河川・環境・地盤・ICT各委員会の現場見学会、講習会、勉強会を実施する。
- (2) 国、県市職員研修に講師を派遣する。
- (3) 東北地方整備局及び東北6県、仙台市と意見交換会を実施する。
- (4) 会員企業の相互の親睦を深め、健康増進、リフレッシュを図るための交流会、スポーツ行事を実施する。
- (5) 会誌「JCCA 東北」を年2回発行する。
- (6) 「東北土木技術人材育成協議会」による「基礎技術講習会」等に参画する。
- (7) 「若手の会」による若手技術者との講習会・官民交流会等を実施する。
- (8) 支部サーバーを利用し講習会等の動画視聴や各種情報を掲載する。

4. その他

能登半島地震により発生した災害に伴い、東北地方整備局と締結している「災害協定」に基づき、テックフォースに帯同する「UAV 調査班」の支援要請がありました。

1月6日から活動開始した第1陣2パーティを初め2月6日に活動を終了した第4陣まで全8社の会員企業が対応にあたりました。